

入院時食事療養届出に最低必要な基準 チェックリスト

1. 栄養管理実施加算（編注：2012年4月より入院基本料の最低要件となる）
<input type="checkbox"/> 入院時（7日以内）に患者ごとの栄養状態評価を実施しているか
<input type="checkbox"/> 医師、管理栄養士、薬剤師、看護師その他医療従事者が共同して、患者ごとの栄養状態、摂食機能および食形態を考慮した栄養管理計画書を作成し、以下の内容を網羅している。カルテに計画書が添付されていること。計画は定期的に評価して、必要に応じて計画の見直しがされているか
<input type="checkbox"/> 医師または医師の指導のもとに、管理栄養士、薬剤師、看護師その他医療従事者が栄養管理計画を入院患者に説明しているか
2. 入院時食事療養
(1) 栄養管理日誌
<input type="checkbox"/> 記載者サイン、院長決裁、鉛筆・修正液使用不可、様式は網羅しているか
(2) 食数把握
<input type="checkbox"/> 患者ごとに実際に提供した食数の記録
<input type="checkbox"/> 患者提供数は食数一覧表で管理
<input type="checkbox"/> 患者入院退院や食事変更は、伝票で処理されているか
(3) 残食調査
<input type="checkbox"/> 記録は栄養管理日誌に記載され、毎食実施し、残量記録があるか
(4) 検食
<input type="checkbox"/> 院長決裁があり、医師または栄養士による検食が必ず実施されているか。栄養士が実施していない場合、医師が必ず実施（配膳前）しているか
(5) 栄養管理委員会
<input type="checkbox"/> 月1回等の定期開催をしているか。委員会メンバーは医師、看護師、栄養士等であり、それぞれの参加出席率は良好か
(6) 栄養指導
<input type="checkbox"/> 患者への必要な栄養指導を実施（栄養指導も医療の一環として指導方針目的を明確にしたうえで医師が指示）しているか
<input type="checkbox"/> 指示せんまたは栄養管理計画の様式には、指示年月日、患者氏名、生年月日、担当医、病名、身長、体重、指示栄養量等状態、食種が記載されているか
<input type="checkbox"/> 医師の指示項目以外に、熱量、熱量構成、塩分、蛋白質質量、脂質量、P/S比、糖質量の項目があるか
<input type="checkbox"/> 指導実施時間（開始から終了時刻）の記載があり、合計時間も合致しているか
(7) 食事せん
<input type="checkbox"/> 入院時食事せんの様式には、主治医名・印、患者氏名、身長、体重、年齢、病名、食事期間、食事種別、調理の硬さ、治療方針、特別食加算・非加算の区分があるか
<input type="checkbox"/> 常食から特別食に変更される場合は、必ず対象病名の記載があり、加算・非加算のチェックがあるか
(8) 特別食加算
<input type="checkbox"/> 特定疾病に対する約束食事せんの内用は問題なく、特別食の献立表が作成され、保険請求時には加算の可否をカルテ、食事せん、複写伝票等との突合を行っているか
(9) 栄養管理
<input type="checkbox"/> 病院給食食品量日計表（検討表）を作成しており、10日ごとの献立見直しをしているか。なお、パソコン管理でも最終的なチェックを確実に実施しているか
<input type="checkbox"/> 給与栄養目標量が適正かどうか確認し、目標と実給与の誤差は1割以内であるよう管理しているか
<input type="checkbox"/> 常食患者年齢構成表および給与栄養目標について、必要に応じて見直しているか
(10) 発注・納品書
<input type="checkbox"/> 発注・検収の実施者のサインがある（編注：医療監視では、委託の場合病院側職員〔栄養士〕が行うよう指導されている）か
<input type="checkbox"/> 患者食と職員食の区分が明確であるか
(11) 消費日計表
<input type="checkbox"/> 消費日計表の作成があり、患者食と職員食の区分は明確であるか
<input type="checkbox"/> 食品の受払処理は適正に実施しているか
(12) 委託契約書（委託のみ）
<input type="checkbox"/> 委託契約書は適時更新しており、委託業務区分は適正であり、現場も契約内容を把握しているか